



8月18日 11:00am-12:30pm

会場：東京都江戸川区船堀タワーホール ホールB

口蹄疫研究の世界的権威 ブライアン・チャールストン博士 第9回国際獣医免疫シンポジウムの講演決定

(本シンポジウムへの参加登録が必要です。登録はお早めに。詳細はシンポジウム公式ホームページをご覧ください。)

<http://9th-ivis.jtbcom.co.jp/>



Dr. Bryan CHARLSTONE (Inst. Anim. Hlth, Pirbright, UK)

講演タイトル：Interaction of foot-and-mouth disease virus with specific cells of the immune system.

ブライアン・チャールストン博士について

チャールストン博士は1982にロンドン大学の王立獣医大学を卒業し、獣医学士となった。大動物家畜の診療業務を行った後、1988年にロンドン大学にて分子生物学で修士号を取得、その後Wellcome Trust奨学生としてロンドン大学で学び1991年に博士号を取得した。その後、Wellcome Trustポスドクフェローとして王立獣医大学およびケンブリッジのパーブラム研究所において3年間研究を行った。

1994年に英国IAHに入り牛のウイルス感染症の免疫応答に関する研究を実施した。さらに、彼は重要な農業用家畜の広範囲の疾病の感染モデルについてのアドバイスと専門知識を提供し続けてきた。

彼の研究グループは、オックスフォードにほど近いコンプトンとサリーのパーブライトに存在している。彼等のグループの研究目標は新型の口蹄疫ワクチンを作り出すための牛の口蹄疫ウイルスに対する免疫応答の解明である。

チャールストン博士は現在、イギリスパーブライトの動物衛生研究所同研究所の口蹄疫研究のプログラムリーダー。

Charlston博士の講演に加えて本シンポジウムには様々な口蹄疫関係のポスター発表やワークショップも予定されています。ふるってご参加下さい。

9IVIS事務局(連絡先) 甲斐知恵子、東大医科研実験動物施設長/教授 E-mail: ckai@ims.u-tokyo.ac.jp

*図はパーブライト研究所HPのデータより作製。